

令和3年度

未来につながる持続可能な農業推進コンクール

応募期限を
延長します!!

持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善等に取り組んでいる農業者等を表彰します。自薦・他薦は問いません。皆様のご応募をお待ちしております。

表彰部門：（1）GAP部門

（2）有機農業・環境保全型農業部門

応募できる方

（1）GAP部門

応募時点で第三者認証を備えたGAP（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP、JGAP）を取得しており、かつ、継続的なGAPの取組を通じて、農業経営の改善や持続可能性の確保について顕著な成果を上げている農業者、農業団体及び教育機関等。なお、実需者と連携した取組についても表彰の対象になります。

（2）有機農業・環境保全型農業部門

有機農業をはじめとする環境保全型農業の取組を通じて、環境負荷低減や生物多様性など環境の保全等に顕著な成果を上げている農業者、農業団体及び教育機関等。なお、実需者と連携した取組についても表彰の対象になります。

表彰の内容

農林水産大臣賞 2点以内

- （1）GAP部門 1点以内
- （2）有機農業・環境保全型農業部門 1点以内



▲令和2年度 農林水産大臣賞受賞者の皆様

農産局長賞 6点以内

- （1）GAP部門 3点以内
個別経営の部、団体の部、人材育成の部
- （2）有機農業・環境保全型農業部門 3点以内
個別経営の部、団体の部、人材育成の部

過去の受賞者の取組の詳細はこちら



◀GAP部門

有機農業・環境保全型
農業部門▶



※GAPの人材育成の部は、農業教育機関の取組が対象になります。

応募期間

令和3年6月28日(月)～9月

たくさんのご応募お待ちしております！

10月15日(金)

主催

農林水産省

詳細は裏面もご参照ください ▶



令和2年度の農林水産大臣賞の受賞者のとりくみ

GAP部門

JA三重中央 美杉清流米部会

- ・4名の担い手による団体認証の先行取得と、それを基にした全体の勉強会を通じ、意思統一を図った上での部会全体での団体認証取得。



・JAが事務局を担い、部会員にとって分かりやすいGAPマニュアルを作成することで高齢者の多い部会員の個々の負担を軽減。

・部会全体の栽培記録データをJAが関係機関の協力のもとに検討した結果をもとにした的確な営農指導を実施し、特別栽培（化学肥料不使用）の技術レベル向上。



・組織体制の整理、農薬使用等の管理のルール化・マニュアル化することで部会の方針やルールが明確化し、経営や農場の継承等に役立ち、3名の新規部会員の参画を実現。

有機農業・環境保全型農業部門

たじま農業協同組合



・コウノトリの野生復帰への取組と合わせ、生産者、JA、行政が一体となり実需者とも連携して「コウノトリ育む農法」の普及を推進。



・輸出促進に取り組み、理念や取組内容が評価され「コウノトリ育むお米」は6ヶ国に輸出。シンガポールやUAEで食農特別授業を実施。



・実需者との連携により、「ごはんの日」のイベント、商品展示会、「産地へ行こう」交流会等、都市部の消費者の理解促進に努力。

応募方法

- ◆ 応募用紙は、以下の農林水産省ホームページからダウンロードできます。
https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/r3_konkuru.html
- ◆ 応募用紙に必要事項をご記入の上、下記の応募先に提出ください。



応募先

GAP部門：各都道府県GAP担当部署

有機農業・環境保全型農業部門：各都道府県環境保全型農業担当部署

たくさんの
ご応募をお待ち
しております！

各地方農政局等問合せ先



地域	お問合せ先	連絡先（電話番号）
北海道	北海道農政事務所 生産経営産業部 生産支援課	011-330-8807
東北	東北農政局 生産部 生産技術環境課	022-221-6214
関東	関東農政局 生産部 生産技術環境課	048-740-0439
北陸	北陸農政局 生産部 生産技術環境課	076-232-4893
東海	東海農政局 生産部 生産技術環境課	052-746-1313
近畿	近畿農政局 生産部 生産技術環境課	075-414-9722
中国・四国	中国四国農政局 生産部 生産技術環境課	086-230-4249
九州	九州農政局 生産部 生産技術環境課	096-300-6275
沖縄県	内閣府 沖縄総合事務局 農林水産部 生産振興課	098-866-1653
農林水産省 農産局 農業環境対策課		03-3502-8111（代表） (GAP) 内線 4852 (有機・環境保全型農業) 内線 4840